

発行者：食育のふるさとさかだにをよくする会

発行日：令和4年2月1日

さかだに瓦版 (かわらばん)

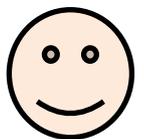
～阪谷地区の今～

第2号



最近、時代の流れにより地域でいろいろな問題が発生し、**このままでは住み続けていくことができない**という声を耳にするようになっていきます。

第1号では、阪谷地区の少子高齢化の現状とそれに伴って地域でいろいろな問題が起こっているのがわかったよ。



今回も、みなさんが知っているようで知らない**阪谷地区の今**を、いろんなデータをもとにみていきましょう。

【第2号の内容】

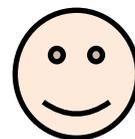
第2章 阪谷地区の働く場の実情

- 阪谷地区の働く場の実情
- 阪谷地区の農業の実情
- 阪谷地区の観光業の実情

第2章 阪谷地区の働く場の実情

～ 阪谷地区の働く場の実情 ～

前回、阪谷地区は大野市全体と比べて「若い世代が少ない」「高齢者のみの世帯の増加傾向が大きい」「人口増減の自然増減の割合が少ない」って特徴があったけど、これは「若い世代を中心に、阪谷地区から他の地域へ流出している」ということなのかな。なんで出て行っちゃうんだろう？



結婚や出産、世代間の問題などそれぞれの家庭でさまざまな理由が考えられるけど、プライベートな問題になるから、何が一番大きな原因かははっきり言えないかな。でも、一つの理由として「生活していくためには働いて稼がないといけないけど、阪谷に住みながらでは働く場がないので、働く場を求めて働きやすい環境のところへ出ていかななくてはならない」といった声があるよ。道路の整備状況やマイカーの所持率などから考えると、市内や奥越地域は、阪谷地区の通勤圏内と考えられるから、それらのデータを見ていこう。

産業別就業者の構成（大野市民）

[平成27年 国勢調査より]

分類	就業者数 (単位：人)	内 訳	
第1次産業	1,563	農業	1,462
		その他	101
第2次産業	5,560	製造業	3,399
		建設業	2,161
第3次産業	10,610	医療、福祉	2,635
		卸売業、小売業	2,359
		サービス業	916
		教育、学習支援業	758
		宿泊業、飲食サービス業	693
		生活関連サービス業、娯楽業	613
		公務	603
		運輸業、郵便業	530
		その他	1,503
合計	17,733		

産業別事業所数・従業員数（大野市内）

[平成28年 経済センサス活動調査より]

分類	職種	事業所数 (単位：件)	従業員数 (単位：人)
第1次産業	農業等	38	672
第2次産業	建設業	283	1,695
	製造業	207	2,742
第3次産業	卸売業、小売業	416	2,223
	宿泊業、飲食サービス業	230	848
	生活関連サービス業、娯楽業	173	605
	サービス業	162	1,143
	医療、福祉	151	2,194
	その他	177	1,874
合計		1,837	13,996

通勤流出入人口 [平成27年 国勢調査より]

	通勤者数 (単位：人)
通勤人口（大野市から他市町村へ）	4,644
通勤人口（他市町村から大野市へ）	2,168

有効求人倍率（奥越地域）※新規学卒者除く

[令和3年10月 ハローワーク大野]

	令和元年度	令和2年度
有効求人数	14,628	11,781
有効求職者数	7,949	8,165
有効求人倍率	1.84	1.44

職種別有効求人倍率・賃金情報（奥越地域）

[令和3年10月 福井労働局職業安定課]

職種	有効求人倍率	求人賃金 (単位：円)		求職賃金 (単位：円)
		上限	下限	希望
専門的・技術的職業	2.13	286,765	202,911	225,833
事務の職業	0.32	208,451	160,570	172,857
販売の職業	5.00	230,143	168,814	180,000
サービスの職業	3.09	234,359	184,562	210,000
保安の職業	3.67	—	—	—
輸送・機械運転の職業	1.74	226,591	203,851	200,000
生産工程・労務の職業	2.59	260,718	179,502	181,905
その他の職業	2.50	—	—	—

◆有効求人倍率とは…

求職者1人に対して、何人分の求人があったかを示すもので、求職者数よりも求人数が多いとき（＝人手が不足しているとき）は、有効求人倍率が1を上回り、逆のとき（＝就職難のとき）は1を下回ります。

なんか、このデータだと有効求人倍率をみても、阪谷に住んでいても十分働く場はあるように見えるけど…



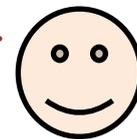
全体の有効求人倍率だけを見ているとそのように見えるけど、実際には職種によって倍率には差があるよ。

仕事は、職を求める人と雇い主（企業）との職種や給料などのいろいろな条件のマッチングの結果だから、いくら求人が多くても、働き手が魅力を感じなければ就職には結びつかないんだよ。

あと、ハローワークの数字には新規学卒者は含まれていないから注意が必要だよ。**学校を卒業して初めて就職する**といった若者は、**これからの将来を考えて、魅力ある職業を探す傾向はもっと強い**と考えられるから、もし、そういった職が地元になれば、自分の将来のためにも外に出て行ってしまおうだろうね。

だからこそ、**魅力ある働き場を地元につくること、魅力ある企業の誘致は重要**なんだね。

ところで、阪谷では広大な棚田が広がっているけど、働く場として農業はどのようなのかな？



じゃあ、次は阪谷地区の農業の実情について見ていこう。

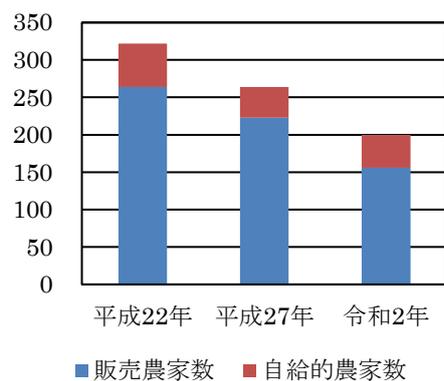
～ 阪谷地区の農業の実情 ～

総農家数

単位：戸

		平成22年	平成27年	令和2年
大野市	総農家数	1,988	1,658	1,227
	販売農家数	1,589	1,294	881
	自給的農家数	399	364	346
阪谷地区	総農家数	322	264	200
	販売農家数	264	223	156
	自給的農家数	58	41	44

総農家数（阪谷地区）



主副業別経営体数

単位：戸

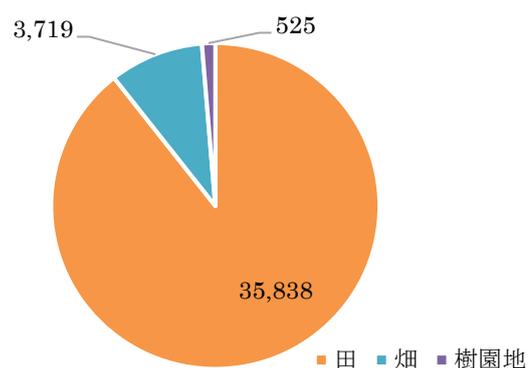
		平成22年	平成27年	令和2年
大野市	主業・準主業 (うち65歳未満専従者あり)	886 (331)	565 (206)	266 (119)
	副業	703	729	619
	主業・準主業 (うち65歳未満専従者あり)	144 (56)	93 (32)	53 (26)
副業	120	130	104	

経営耕地の状況

単位：a

		平成27年	令和2年
大野市	田	387,860	372,862
	畑	6,712	10,311
	樹園地	747	530
阪谷地区	田	36,895	35,838
	畑	3,955	3,719
	樹園地	607	525

経営耕地の状況
(阪谷地区 令和2年)



経営耕地面積規模別 経営体数（令和2年）

単位：戸

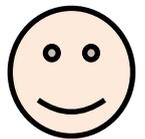
	1ha未満	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0ha以上	合計
大野市	365 (39.1%)	332 (35.6%)	112 (12.0%)	124 (13.3%)	933 (100.0%)
阪谷地区	95 (58.6%)	45 (27.8%)	8 (4.9%)	14 (8.6%)	162 (100.0%)

農産物販売金額規模別 経営体数（令和2年）

単位：戸

	100万円未満	100～300万円	300～500万円	500万円以上	合計
大野市	539 (57.8%)	259 (27.8%)	43 (4.6%)	92 (9.9%)	933 (100.0%)
阪谷地区	127 (78.4%)	21 (13.0%)	3 (1.9%)	11 (6.8%)	162 (100.0%)

大野市全体でも阪谷地区でも農家はかなり減ってきているね。
なかでも、**農業を主業にしている農家の減り方が大きい**ね。



そうだね。これは大野市全体に言えることだね。
あと、阪谷地区の特徴で言うと、大野市全体と比べて「**耕地面積の規模が小さい**」のと「**販売金額の規模も小さい**」
と言えるかな。
このままではなかなか厳しいね。

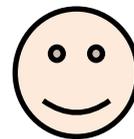
阪谷地区は土地的に棚田が多いし、鳥獣害もあるから農
作業も大変そうだしね。何かいい方法はないの？



棚田は確かに作業的にはデメリットだけど、その分、**清らかな水と経ヶ岳から吹き降ろす冷たい強風が美味しいこだわり農作物を生み出している**と言われて
いるよ。それに、阪谷地区では**減農薬、減化学肥料にこだわった栽培方法**を行っていることも特徴だね。
これからの農業は、そういった他の地域とは違う特徴
を持った美味しい農作物を、**作るだけではなく、どうやってブランド化（差別化）して、市場を開拓して売り込むか**といった経営面を強化した「**儲かる**」農業を
目指していく必要があると言えるだろうね。
もちろん、これは、それぞれの農家だけではなく、国
なども含めてみんなで取り組んでいかなければなら
ないことだね。



農業についてはわかったけど、阪谷の特徴と言えば、昔は六呂師にスキー場があってすごくにぎわっていたって聞くけど…
観光業はどんなのかな？



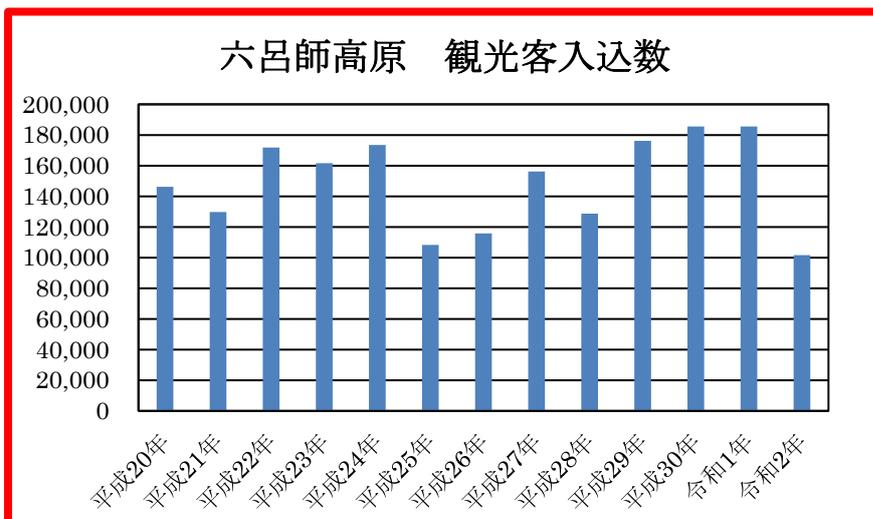
じゃあ、次は阪谷地区の観光業の実情について見ていこう。

～ 阪谷地区の観光業の実情 ～

観光客入込数

単位：人

	大野市	六呂師高原
平成20年	1,514,800	146,300
平成21年	1,477,400	129,700
平成22年	1,826,500	171,800
平成23年	1,533,400	161,600
平成24年	1,536,500	173,400
平成25年	1,543,200	108,300
平成26年	1,935,500	115,700
平成27年	2,072,000	156,300
平成28年	2,129,800	128,700
平成29年	2,004,500	176,100
平成30年	1,988,600	185,500
令和1年	1,992,900	185,600
令和2年	1,120,400	101,600



【主な出来事】

平成25年…六呂師スキー場廃業

平成29年…うらら館リニューアルオープン、スキーパーク営業開始

平成30年…スキーパーク夏ゲレンデ営業開始

令和2年…新型コロナウイルスの流行

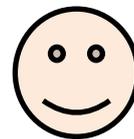
六呂師高原の主な施設及び入込客数

単位：人

施設名	平成30年	令和1年	令和2年
うらら館	31,072	32,349	25,272
ミルク工房奥越前	30,814	33,765	26,020
スキーパーク	3,994	1,973	858
サン・スポーツランド	2,680	3,084	447
福井県立自然保護センター	32,464	30,154	23,407
奥越高原青少年自然の家	29,811	28,821	9,841
奥越高原牧場	25,887	27,019	10,526

■六呂師高原での宿泊施設（民営）…農家民宿このは、六呂師高原の宿

いろいろな施設があって、多くの観光客が来ているように見えるけど…



六呂師スキー場が営業していた時の話を聞くと、スキー場の最盛期は昭和 50 年代後半頃で、1シーズンで 10 万人以上の人に来ていて、その頃には、ホテルをはじめとして民宿も 10 軒以上あったそうだよ。
雪不足やスキー人口の減少等からスキー場が廃業してからは、施設は民間ではなく市や県の施設がほとんどの状況になっていて、観光客が来ても地元に着るお金が少なくなっているのが課題の一つだね。

観光面で今後期待できることはないの？



働く場としては、現状は厳しいけど、観光面ではいろいろと期待できる動きがあるよ。
今、市では六呂師高原のある「南六呂師区」で令和 5 年度に星空保護区制度の認定を目指して、さまざまな取り組みをしているよ。それに、県では六呂師高原の活性化に向けて、民間企業と連携し「六呂師高原および奥越エリアのアウトドア観光推進構想」の策定に取り組んでいるし、その他にも、阪谷には、スターランドさかだにのひまわり畑や巨大岩塊群、経ヶ岳などの登山、桃木峠の大杉、それにさっき農業の話でも挙げた美味しい食べ物など、阪谷地区のブランドや観光素材として期待されるものは多いよ。それらを活かしたメニュー作りや情報発信をみんなで取り組んでいくことで観光は期待が持てる分野と言えるんじゃないかな。



今回はここまでだよ！！

次回も阪谷の今を知っていきましょう！！

※さかずきんちゃん（阪谷地区マスコットキャラクター）

次回以降の予定 (※現時点の予定ですので内容等変更になった場合はご理解ください。)

第3号 令和4年4月下旬発行予定

【内 容】 第3章 阪谷地区の生活環境

～ 阪谷地区の公共交通 ～

～ 阪谷の生活環境、災害と防災 ～

～ 阪谷地区の移住定住の実情 ～

※各データの注釈

	データ提供等	各データ基準日等	
P1 産業別就業者の構成（大野市民）	市 産業政策課 （国勢調査より）	平成27年	
	産業別事業所数・従業員数（大野市内）	市 産業政策課 （経済センサ活動調査より）	平成28年
P2 通勤流出入人口	市 産業政策課 （国勢調査より）	平成27年	
	有効求人倍率（奥越地域）	市 産業政策課 （ハローワーク大野より）	令和 3年10月
	職種別有効求人倍率・賃金情報（奥越地域）	市 産業政策課 （福井労働局職業安定課より）	令和 3年10月
P3 総農家数	市 農業林業振興課 （農林業センサ活動調査より）	平成22年 平成27年 令和 2年	
	主副業別経営体数	市 農業林業振興課 （農林業センサ活動調査より）	平成22年 平成27年 令和 2年
	経営耕地の状況	市 農業林業振興課 （農林業センサ活動調査より）	平成27年 令和 2年
P4 経営耕地面積規模別経営体数	市 農業林業振興課 （農林業センサ活動調査より）	令和 2年	
	農産物販売金額規模別経営体数	市 農業林業振興課 （農林業センサ活動調査より）	令和 2年
P5 観光客入込数	市 観光交流課	各年：1月～12月	
	六呂師高原の主な施設及び入込客数	市 観光交流課	各年：1月～12月